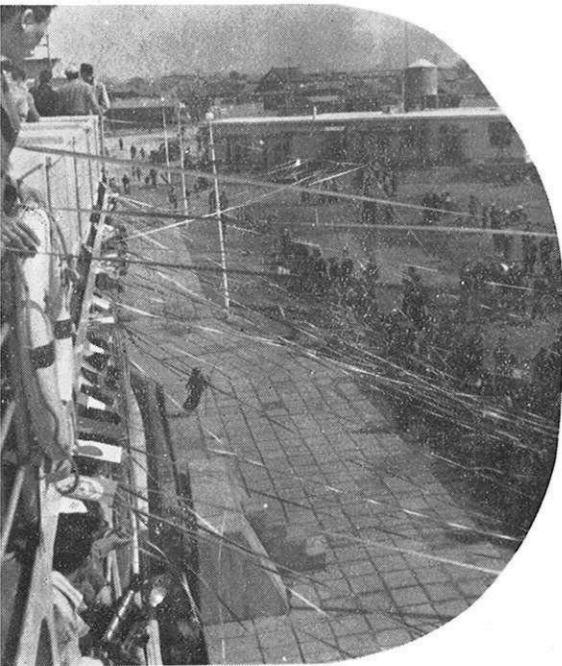


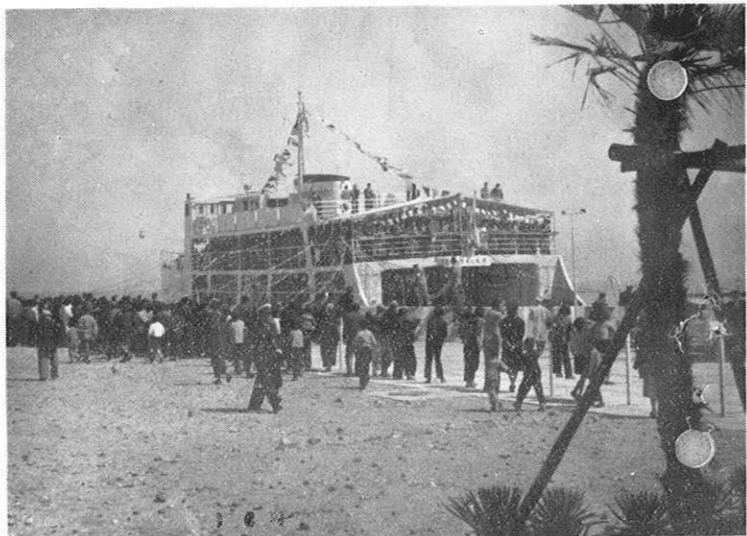
★ — ★

↓七色のテープが港を花のようにうずめた……★



第二有明丸就航す

よろこびに湧く春の長洲港



↑南国的な情緒の中に、クリーム色の船体を見せた……★



↑レーダ等の近代装備によつて航海の安全は完璧である……★

運航時刻表 34.3.26

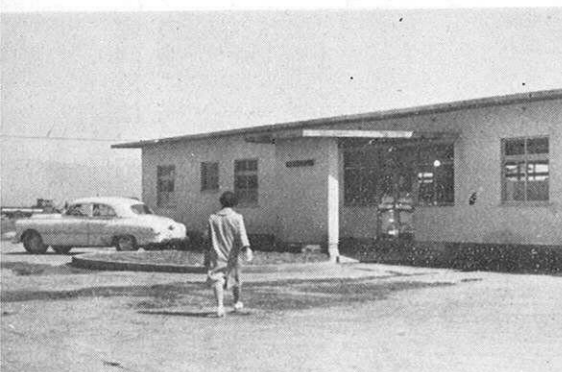
便	長洲多比良両港同時発	時刻	便	長洲多比良両港同時着	時刻
1		6.30	1		7.20
2		7.30	2		8.20
3		8.30	3		9.20
4		9.30	4		10.20
5		11.30	5		12.20
6		13.30	6		14.20
7		15.30	7		16.20
8		17.30	8		18.20
9		18.30	9		19.20
10		19.30	10		20.20
11		21.30	11		22.20

春の運航は次表の●になつていますが、航送船についてのご相談は熊本県長洲町有明航送船組合へ

自動車の登録や整備にあたる県陸運事務所は、新しく熊本市東区に移転しました……★

「海を渡る自動車」、航送船は、観光に産業に、熊本と長崎を短距離に結ぶ航送船は全国的にも注目されていますが、さる三月末に、新しく第二有明丸が就航し輸送も一段と活況を呈しています。

★ ★ ★



県政質問箱

この質問箱は、県政についてのご質問に對してわかりやすくお答えする皆さんの窓口です。

問

私の家庭（盲目の父、和裁内職の母、中学、小学の二人の妹）は、生活保護法による生活扶助をうけ、自身はその医療扶助によつて二年前から結核療養所に入院していましたが、先日、福祉事務所から退院するように云われました。私の病気は大分良くなつてはいるものゝまだ完全ではなく、このまゝ苦しい家庭に帰れば、栄養などの理由で再び悪化するのではないかと心配です。いま暫らく入院させて貰えないか又その退院命令は予算がないからということですが、本当でしょうか。

答

ご質問の内容を
第一に、病気が完全に治つていないからもう暫らく入院して欲しいと云う希望
第二に、退院すれば栄養不足で病気が悪化しないかという心配
第三に、予算の都合で退院させるのではないかとという疑問
以上三つの点に分けてお答えします。
第一 あなたの病気が、退院ということを決して治療を止めるというのではなく、通院しながら治療をしても大丈夫だということに病気が良くなつたと

いうことですから、患者自身としても大いに喜んでいただきたことだと思います。それでもなお大丈夫かという心配があるかと思われませんが、患者の病状は主治医から詳しく福祉事務所の嘱託医へ報告しそれが検討されており、もし、病状についての検討が嘱託医だけではむづかしいという場合には、さらに県におかれている医療扶助審議会（医大や国立養護所の権威ある人たちが構成されている）で慎重に検討されて、入院、退院等が決められており、とくに退院については、主治医とも充分相談のうえ実施されていますので、この点についても安心して下さい。
第二 退院後による栄養については、生活扶助の面では一般生活費の外に、在宅患者加算として市部では一人一ヶ月に七二五円、郡部では六四〇円の栄養費をさし上げることになっていて、充分はありませんが栄養不足によつて病気が悪化する心配はいらないと思ひます。

第三 結論から云つて、そういうことはありませんが生活保護の費用が国民一人一人の税金で賄われているために、その使いかたに少しも無駄があつてはならず、そのような意味から必要以上の入院を続けるとか、治療をするとかはあつてはならないのです。憲法では、自分で生活できない人、病気の治療がどうしても自分でできない人に対しては、国が責任をもつてそれを保障するように定められているのですから、実際に入院治療が必要なるものを算がないからと云つて、それを認めないというようなことは決してありませんので、この点、法の趣旨をご理解願ひたいと思ひます。
（註）本号から「県民質問箱」を設け、県政についてのいろいろな質問を皆さまからお受けすることにしました。さし当つて今回は、去る三月十日（土）ラジカ熊本の「県庁アワー」の時間（午後七時十五分から三十分まで）によせられたものを再録いたしましたので、どうぞ皆さまのご利用をお待ちしております。

第1回 日展開く

4月15日—5月10日

第一回日展が四月十五日から五月十日まで熊本市大洋デパートで開かれ日本画、洋画、彫塑、工芸、書など約三三〇点が展示されています。
「日展」とは日本美術展覧会の略称で、現代日本美術の粋を集めたのが国最大の総合美術展です。今回は東京、名古屋、京都、大阪について熊本市（西日本）熊本の多々で開催されることになりました。なお熊本市会場には、東京から日本画家山口蓬春、洋画家中村研一、彫塑家北村西望、美術工芸家山崎覚太郎、書家豊道春海の五氏が作品陳列指導のため来熊することになっていました。
日展の熊本市開催は、今後おそろしく望めないかもしれませんので、この機会をお見逃しなくご観覧下さい。
主催 社団法人日展・熊本県・熊本市
熊本県教育委員会・熊本市教育委員会・西日本新聞社
後援 文部省
前売券・団体鑑賞などの申込みは、熊本市花畑町 西日本新聞熊本総局へ
（カット写真は山口蓬春画伯作品）

